

# gakuto

\*学塔\*



2006.Autumn

No.118



クローズアップ

自著を語る「大学生と国際交流」

これだけは読んでおきたい

各学部の先生からのオススメ本

From Students

留学生&職員「座談会」in国際交流サロン

ブックロウのPick Upコーナー!!

NEW!!データベース 聞蔵Ⅱ、Nikkei TELECOM 21

NEW!!電子ジャーナル Science、Nature

News!

図書館のマスコットキャラクター、  
フクロウの愛称決まりました!!

特集

世界から三重大へ もっと知りたい  
留学生の皆さんの出身国



## 『大学生と国際交流』

：四人のライフ・ストーリー  
 〈ナカニシヤ出版 2006.3〉  
 [所在] 図・開架・図書  
 [請求記号] 377.9/D 16



**花見 槇子 先生**  
 国際交流センター教授

世界のグローバル化が進むにつれ、異文化交流・多文化共生への関心がますます高まっています。三重大学にも、約260名の留学生在籍していることを皆さんはご存知ですか？本書は、三重大学に同時代に在籍した日本人学生4人が、留学生との関わりの中でそれぞれ成長を遂げていく様子を追いかけたライフ・ストーリーです。著者の花見先生にお話を伺いました。

「ライフ・ストーリー」という手法  
 本のタイトルにもある「ライフ・ストーリー」とは何でしょうか。

社会科学の調査方法には、「量的調査」と「質的調査」があります。「量的調査」は主に「社会学」で使われる手法で、母集団からサンプルを抽出し、質問紙等で調査します。一方、「質的調査」は、古くは「文化人類学」の分野で発達してきた手法で、少人数を対象とし、インタビューや参与観察などで長期的に深く調査します。「ライフ・ストーリー」とは「文化人類学」の代表的な手法の一つです。一九九八年から二〇〇三年にかけてインタビューを重ねてきた四人の大学生が、それぞれ一人称で語る、という形式でこの本を書きました。

### 「人生の各ステージ」という構成

四人の物語が、「プロフィール」「国際交流事始め」「国際交流体験を経て」「留学と異文化体験」「卒業、新たな出発」と、「ステージごとに章立てされているのが、新鮮です。

一人ずつの話を章立てしても良かったのですが…。文化人類学者オスカー・ルイスの『サンチェスの子供たち』という作品があります。これはメキシコのある家族の四人の子供たちへのインタビューを元にして書かれた本で、子供たちがある時期に何を考え、どのように行動したのかを、人生のステージごとにまとめて描いています。学生たちとのインタビュー内容をまとめている時、この手法と構成が自然に浮かんできました。

本書の四人は同じ時代を三重大で過ごし、同じ留学生と付き合い、互いに密接な関係を持ち、影響し合っていました。そんな彼らのライフ・ストーリーを、時代ごとに区切ってまとめたら面白いのではないかと考えたら、すんなりマッチしていききました。

※「サンチェスの子供たち」：メキシコの一家族の自伝。オスカー・ルイス〔著〕 柴田穂、行方昭夫〔訳〕 みすず書房、1986 所在〔人文・社会〕 請求記号〔367.3/L 59〕

### 「社会学から文化人類学へ」揺れた学生時代

「これまでの研究について教えてください。」  
 もともとは、社会学を学んでいました。農村社会学で戦後高度成長長期に、都市と農村の経済格差が広がった結果現れた「出稼ぎ」という現象について、東北地方の農村へ学生中心に二〇名位で出向き、夏休みの二週間、朝から晩まで調査票を用いた悉皆調査を行いました。夏休み明けには、統計的な集計作業をし、最終的に卒論としてまとめました。卒業後は、まずハワイ大学で学部時代の「出稼ぎ調査」のデータをもとに論文を書き、社会学の修士号を取得しました。

ところが、実はこの頃から、社会学的研究手法は自分に向かないのでは…？と思いはじめたのです。そこで惹かれたのが文化人類学でした。当時の私は、社会学と文化人類学は似ているから、社会学の修士号があれば、文化人類学の博士課程に入れると思っていたのです。しかし、進学した UCLA では「社会学と文化人類学は別ものです」と言われて。結局、文化人類学の修士号をまず取得し、その後、博士号も取ることができました。文化人類学に移ってからは、研究テーマも「東南アジア社会とジェンダー」に変えました。

### キャンパスの中の異文化交流

「三重大学キャンパスにおける異文化交流についてどうお考えですか？」

まだまだ留学生の数が足りないと思います。三重大学には約二六〇人の留学生在籍していますが、多くは院生で、学部の留学生と遭遇する機会が少なく、日本人学生から見たら「留学生はどこにいるの。」という感じでしょうね。それに人数が少ないことから、大学システムからも忘れられがちです。留学生を増やすためのインフラが未整備な部分もあって、難しい面もありますが、留学生数が全学生の二割になれば、状況がかなり違ってくるでしょう。

### 図書館でも留学生の方向けのイベントを実施する

図書館でも留学生の方向けのイベントを実施するなど、いろいろ試みているのですが、イベント自体が珍しいですよ。企画するほうも肩力が入ってしまうし、留学生のほうも「期待に応えなくて」とプレッシャーになってしまう。もともと自然に、留学生が集まれる場があると、情報も行き届いていいのですが。

### 大学生と図書館

図書館では、国際交流関係も含め、シラバス掲載図書は全て受け入れていますが、意外と知られていません。

今の学生さんは、あまり本を読む時間が無いのではないのでしょうか。十数科目も授業を履修し、バイトや部活動をこなして、とにかく忙しい。また、学生が図書から離れていくのは、図書館の環境も関係しているのだと思います。欧米の大学には、「リザーブ・アクセス」という制度があります。これは授業を履修している学生に、授業に関連する図書を優先的に貸し出す制度です。電子的なメディアも含め、学生の学習のためにより良い環境づくりをお願いしたいですね。図書館はそのためにあるのだと思います。

### 「一歩踏み出したい！」異文化交流体験

「学生さんへのメッセージをお願いします。」

「異文化の人と話したい、知りたい」という潜在的な欲求は多くの学生が持っていると思います。海外旅行や留学に興味を持っている人は、とても多いですよ。しかし、本当にそこから一歩踏み出せる人は多くありません。やはり言葉の問題があるし、異文化に触れるのは不安もあるでしょう。しかし実は、日本の中にだって、世代・男女・地域間など、異文化的要素はあります。きっかけさえあれば、その一歩を踏み出せる人が増えてくると思います。踏み出してみたら、「あ、意外と楽しい！」と思える人も多いのではないかと思いますよ。

# これだけは読んでおきたい READING \* LIST 各学部の先生からのオススメ本

**生物資源学部 高山進先生**

栗原康 著  
 『有限の生態学』  
 岩波書店  
 [所在] 図・開架・図書  
 [請求記号] 468/KU 61

太陽エネルギーを受け物質的には閉鎖系の地球は、生物とその環境との相互作用の結果持続・恒常系を形作ってきた。栗原はわずか500ccのフラスコ内に半年ほど持続できる閉鎖系を造り出し、その安定の要因を考察している。30年前に表された書物でありながら、すでに地球環境問題を強く意識し、この「ミクロコスム」と人間社会とのアナロジーに基づき、問題解決の方向を提案している。1994年に「同時代ライブラリー」版で再販された。

**人文学部 田中亜紀子先生**

ミシェル・フーコー  
 『監獄の誕生  
 ー監視と処罰』  
 新潮社  
 [所在] 図・開架・図書  
 [請求記号] 326.4/F 42

『監獄の誕生』とあるが、ヨーロッパにおける処罰の変容と監視について分析を加えながら、監獄のみならず、権力や規律、管理社会の構造解明を試みた興味深い一冊。フーコー入門書にして、今なお社会科学に関心を持つ人びとに大きな影響を与えている。文章表現上、多少わかりづらい箇所があるかもしれないが、口絵の面白さとともに本書のスケールの大きさを楽しんでいただきたい。

**工学部 小竹茂夫先生**

畑村 洋太郎 著  
 『失敗学のすすめ』  
 講談社文庫  
 [所在] 図・開架・図書  
 [請求記号] 335.9/H 41

失敗が大切なのはなぜか？それは順調に見えていたシステムの欠点を暴く「反証」を与えてくれるからだ。これを読めば日常起こる事故をマスコミとは違った視点から眺めることが出来るだろうし、問題の本質を見抜く力を養う学問の大切さも実感できるだろう。ともすれば細かな専門知識に惑わされがちな日々、「大学で何を学び、どんな専門家を目指すのか」を深く考えさせてくれる好著。

**教育学部 弓場徹先生**

弓場徹 著  
 『奇跡のボイストレーニング  
 BOOK』CD付  
 主婦の友社  
 [所在] 図・開架・図書  
 [請求記号] 767.1/Y 96

次のような欲求のある人に勧めたい。「音域を広くしたい」「声量をつけたい」「発音をハッキリさせたい」「歌音痴を治したい」「音質を改善したい」「ストレスを発散したい」「人前でかっこよく歌いたい」「将来歌を仕事にしたい」「新しい音声生理学のさわりを知りたい」など、つまり、声をよくしたり、上手く歌いたい人の本だ。方法はいたって簡単、まねるだけ。身に付いた技術は無形だが、確かに大きな宝物だ。

**共通教育 尾西康充先生**

田村泰次郎 著  
 秦昌弘、尾西康充 編集  
 『田村泰次郎選集(全5巻)』  
 日本図書センター  
 [所在] 図・開架・図書  
 [請求記号] 913.6/Ta 82/1 1-5

三重県四日市出身の田村泰次郎は、日中戦争では5年3ヶ月の間、中国大陸で従軍生活を送った。自分の体験にもとづいて一兵士としての視点から戦場の光景を小説に描き出した。戦後初期の「肉体の悪魔」や「春婦伝」などの作品、作家晩年の「蛙」「失われた男」などは、戦争小説として読み継がれるべき作品である。なお副読本として「丹羽文雄と田村泰次郎」(学術出版会)を併読すると、作品の理解が深まるだろう。

**医学部 櫻井しのぶ先生**

大平健 著  
 『豊かさの精神病理』  
 岩波新書  
 [所在] 図・開架・PB  
 [請求記号] 146.8/O 29

この本の著者に私は精神医学を学んだが、私自身は大学時代一度も彼の著作を読んだこともなく、彼のファッションのみしか覚えてない不真面目な学生だった。その後、書店で題名に惹かれ手に取ったこの本を読んで、自分にも当てはまる箇所満載で引き込まれた。よろず相談のモノログとして語られる「モノ語り」内容は、バブル崩壊の今でも新鮮さを失っていない。「モノ」と人の精神との関係性を問うことで、自分のこころの有りようを見つめ直してみたいかがでしょうか？

# 世界から三重大へ

# もっと知りたい

# 留学生の皆さんの出身国

## 特集

留学生の皆さん、ようこそ三重大へ！  
 三重大には2006年5月現在、世界32カ国から学部生108名、院生146名、日本語研修生の名を合わせて260名の留学生が学びに来ています。  
 留学生の皆さんの故郷にはどのような環境・文化・風習があるのか、存知ですか？  
 今回の特集では、三重大の留学生の出身国をテーマに、図書をご紹介します。  
 硬い学術書だけではなく、マンガやエッセイ、旅行記など読みやすい図書も取り揃えています。もしも知らなかった世界が発見できるかも！



### 旅案内



『ギリシャ・エーゲ海：古代文明を生んだ魅力的な島々』  
 赤井良平 文、柳木昭信 写真、旅名人編集室 編／日経BP企画

Europe [5]

### 統計



『Statistical handbook of Japan』  
 Bureau of Statistics, Office of the Prime Minister  
 Bureau of Statistics, Office of the Prime Minister

Asia [242]



『日本文化を英語で紹介する事典』  
 杉浦洋一、ジョン・K・ギレスピー 著／ナツメ社

日本文化を英語で紹介



『イラスト会話ブック ドイツ』  
 玖保キリコ マンガ、宮本明子 イラスト／JTBパブリッシング

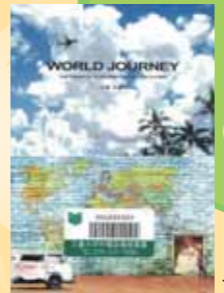
### 歴史解釈



『日本と中国「歴史の接点」を考える：教科書にさぐる歴史認識』  
 夏坂真澄、稲葉雅人 著／角川学芸出版



本で世界を旅してみよう!



『World journey : The guide of a journey with love & free』  
 高橋歩 編著／A-Works



『カワイく着こなすアジアの民族衣装』  
 森明美 著／河出書房新社

民族衣装のあれこれ

South America [4]

### 社会情勢

忘れちゃいけない食文化



『タイの屋台図鑑』  
 岡本麻里 著／情報センター出版局



『インドネシアを知るための50章』  
 村井吉敬、佐伯奈津子 編 著／明石書店



『リビアを知るための60章』  
 塩尻和子 著／明石書店

### 事典・辞書

文学から解き明かす

『ラテン・アメリカを知る事典』  
 大貫良夫(ほか) 監修／平凡社



『オセアニアを知る事典』  
 石川崇吉(ほか) 監修／平凡社



『アフリカを知る事典』  
 伊谷純一郎(ほか) 監修／平凡社

### 文化・風土



『世界の隠れ名所を歩く地図：ガイドブックには載っていない【0秘】スポット案内』  
 ロム・インターナショナル 編／河出書房新社



『食で選ぶ世界の旅』  
 ロム・インターナショナル 編／東京書籍



『ペルー/ポリビア/アルゼンチン/エクアドル/パラグアイ/ウルグアイ』  
 朝日新聞社

※本の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。

# From Students

## 三重大学図書館

図書館で語り合おう♪  
(第2回)



●ラウンドテーブルの様子●

### 留学生&職員「座談会」in国際交流サロン開催しました!

図書館2階にある国際交流サロンは三重大学に学ぶ留学生、日本人学生、そしてお互いの文化への理解を深めることに興味のある皆さんのためのサロンです。

8月9日、国際交流サロンにて留学生(7名)と職員(情報図書館(5名)、国際交流(2名))の座談会を開催しました。夏らしい水菓子と冷たい抹茶をいただきつつ、職員は浴衣を、留学生は浴衣か自国の民族衣装を着用し、自国の紹介(季節や食物や衣服など)や、図書館や大学の留学生サービスについて意見交換を行いました。

#### 出身国の文化

今回参加した留学生の出身国はブラジル・韓国・中国・ドイツ・マレーシアと多彩で、民族衣装や国旗など文化にまつわる図書を見ながら、それぞれのお国の文化について皆さん生き生きとお話くださいました。

みなさんの国の民族衣装は何ですか?どんな特徴があり、どんなときに着用しますか?

「ブラジルは「移民の国」ということであって特定の民族衣装は無く、それぞれの文化を大事にしています」「中国ではチャイナ服がありますね。結婚式などで着用します」「マレーシアの民族衣装はバジユクロン(低いスタンドカラーに長袖・膝まである裾)と、トゥドン(頭を覆うスカーフ)です。結婚式や日常の通勤などでも着ます」

「中国モンゴル族の民族衣装はもともと騎馬民族であることから馬に乗りやすいように裾が広がっています。民族

#### LEO MACHICHI

衣装は主に正月や結婚式などのセレモニーで着ます。今着ている服や牛の皮で作ったブーツは祖母の手作りで、宝物です!」「韓国女性の民族衣装はこのチマチョゴリです。私がいま着ているチマチョゴリは伯母にもらったもので、この機会に日本で初めて着られて嬉しいです」

食べ物について、どんな特徴がありますか?

「ドイツにはクリスマス前の季節になるとリープクーヘンというチョコレートの入ったお菓子を食べます」「マレーシアは一年中暑い国なのでアイスカチャン(氷の中に、フルーツや豆が入ったスイーツ)を良く食べます」「中国の北のほうではんにくを良く食べます。たとえば餃子とか」「モンゴル族は元来肉食なんです。でも、最近では交通手段の発達によって野菜や果物も手に入りやすくなり、若い人はよく食べています」「韓国ではキムチが代表的な食べ物ですね。基本的な食事は(飯+キムチ+チゲ(汁)+ナムル(おかず))



●留学生の皆さんと職員●

というくらいよく食べます。食事の際に金属製の箸を使うのが特徴です」

#### 図書館への要望

図書館をどのように利用していますか?

「レポートを書いたりするのにパソコンやプリンタ、ネットワークを使っています」「雑誌や大学紀要などを使いますね」「国際交流サロンの雑誌なども利用しています」

図書館へはどのような要望がありますか?

「文化や宗教についての図書が少ない」「1階の中国文学の図書が古い」「ビデオ、DVDの数が少ない。アカデミー賞受賞作品など、新しいものでなくていいから、入れてほしい」などの資料に関する意見、「図書の棚がどこからどこに続くのかわかりにくい」「2階の雑誌が探しにくい」「OPACが使いにくい」などの利用面でのご意見、「各種イベントのお知らせなどの広報が届くようにしてほしい」「こういったイベントを続けてほしい」といった広報活動に関するご意見をいただきました。

図書館では、皆様の声を元に、より良いサービスをしていきたいと考えています。カウンター等へもお気軽に、ご意見をお寄せ下さい。また、国際交流サロンもぜひご活用下さい。

有難うございました!





Pick Up!

# ブックロウの Pick Up コーナー!!

図書館のホームページ  
<http://www.lib.mie-u.ac.jp/>  
から Check it out !!

## NEW!! データベース

NEW!



### 朝日新聞記事検索 聞蔵II ビジュアル

聞蔵II ビジュアル (同時アクセス: 1)

朝日新聞1985~週刊朝日 AERA 朝日新聞縮刷版 1945~1984 知蔵蔵

検索モード:  シンプル検索  詳細検索

対象紙誌名:  朝日新聞  AERA  週刊朝日

キーワード: 情報化

AND OR NOT  関連キーワード参照

発行日:  3ヶ月  6ヶ月  1年  全期間

朝日新聞 2006年9月8日 朝刊 8ページ 東京本社

ブロードバンド普及具体策練の国内ブロードバンド(高速大容量)をサ...  
をセロにする政府目標の...  
信事業者も官民が協力...  
して具体策を練る...  
通信インフラ委員会...  
7日に東京本部で初会...  
議の模様を伝えている。

朝日新聞の全文が読める!

聞蔵が Power Up!

- 約715万件以上の記事を収録した国内最大級の新聞記事オンラインデータベース
- 1945年以降の記事が検索可能!(45~84年までは縮刷版で表示)
- 2005年11月以降の記事は図表・写真も提供

### Nikkei TELECOM 21

NIKKEI TELECOM 21 (同時アクセス: 2)

日経平均(前引円)16,956.57 208.52 | 円相場 東京(11:54)117.40 - 117.45 -0.23

検索: 普通行 12:08 株、新興市場との相関関係に注目し、新光の利川氏... |

履歴 情報化 ICT 記事 企業 人事 を検索

日経テレコン21

産業社会の新潮流

ビジュアル

日経新聞の全文が読める!

ユビキタス ネット セキュリティ対策が急務に

- 日本経済新聞を始めとする日経4誌を検索!
- 株価や日経株価指数などの指数・指標をリアルタイムで提供
- 就職活動に利用する企業情報・経済情報も充実

## NEW!! 電子ジャーナル

NEW!



### Science



- 米科学振興協会の発行している英文学術雑誌(週刊)
- 世界中の科学文献や新聞記事などで広く引用
- 1997年以降の全文が読めます
- 日経サイエンス(Scientific Americanの日本版)もオススメ!冊子は図書館2階に置いてます  
<http://www.nikkei-science.com/>

### Nature nature

- 英国Nature Publishing Group出版の英文学術雑誌(週刊)
- ID/PWが不要になり、より使いやすくなりました!
- NatureシリーズのNature Biotechnology, Nature Genetics, Nature Materials, Nature Medicine, Nature Physics も導入

●●●文献検索～プレゼン作成まで●●●

Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
		1	2	3
6	7	8	9	10
日本語	日本語	日本語	日本語	日本語
13	14	15	16	17
英語	英語	英語	英語	英語
20	21	22	23	24
プレゼン	プレゼン	プレゼン	-	プレゼン
27	28	29	30	
留学生	留学生			

※時間：10:30～12:00

※予約制(情報リテラシー担当)：参考カウンター、電話、Eメール(下記参照)等でお申込みください。

# News!

「ブックロウ」です。  
よろしくお願いします!!

## 図書館のマスコットキャラクター、 ブックロウの愛称 決まりました!!



**決定!**

2006年3月～5月に募集したブックロウ愛称に、  
245人の方から293件のご応募をいただきました。  
たくさんのご応募、ありがとうございました。  
また、特別賞としてOwly (アウリー)とミエロウが選ばれました。

### 展示図書コーナー新着図書

(2006年1月～6月発行分)

- 水越允治(編) 名誉教授 / 『古記録による15世紀の天候記録』 東京堂出版 2006.5
- 成田美代(監修) 名誉教授 / 『三重の味千彩万彩』 みえ食文化研究会 2006.6
- 岩本美砂子(執筆) 人文学部教授 / 『Q&A男女共同参画/ジェンダーフリー・バッシング』 明石書店 2006.6
- 小川眞里子(講演) 人文学部教授 / 『女性の科学キャリアに関するワークショップ2005』  
文部科学省科学技術政策研究所 2006.2
- 小川眞里子(執筆) 人文学部教授 / 『遺伝子「不平等」社会』 岩波書店 2006.5
- 尾西康充(著) 人文学部助教授 / 『近代解放運動史研究』 和泉書院 2006.3
- 鹿嶋洋(執筆) 人文学部助教授 / 『知識・情報社会形成に向けた地域社会経済構造の研究』 三重県総合企画局 2006.3
- 上垣涉(著) 教育学部教授 / 『はじめて読む数学の歴史』 ベレ出版 2006.1
- 藤田達生(著) 教育学部教授 / 『江戸時代の設計者』 講談社 2006.3
- 山根栄次(著) 教育学部教授 / 『金融教育のマニフェスト』 明治図書 2006.3
- 姉崎弘(著) 教育学部助教授 / 『特別支援教育』 大学教育出版 2006.6
- 小玉道明(編著) 教育学部非常勤講師 / 『考古の社会史』 光出版 2006.3
- 浦川加代子(著) 医学部看護学科教授 / 『コミュニケーション達人ナース』 星和書店 2006.5
- 大原興太郎(執筆) 生物資源学部教授 / 『農山漁村文化の技術者倫理』 農山漁村文化協会 2006.2
- 小畑仁(執筆) 生物資源学部教授 / 『中国山岳地帯の森林環境と伝統社会』 北海道大学出版会 2006.3
- 田中晶善(著) 生物資源学部教授 / 『これならわかる化学実験』 三共出版 2006.4
- 江原宏(執筆) 生物資源学部助教授 / 『栽培学：環境と持続的農業』 朝倉書店 2006.2
- 岩城俊昭(執筆) 生物資源学部講師 / 『フジツボ類の最新学』 恒星社厚生閣 2006.2
- 花見楨子(編) 国際交流センター教授 / 『大学生と国際交流』 ナカニシヤ出版 2006.3
- 花見楨子・鹿嶋恵(共著) 国際交流センター教授 助教授 / 『大学生のためのレポート作成ハンドブック』  
三重大学共通教育センター 2006.5
- 鹿嶋恵(共著) 国際交流センター助教授 / 『新版いっしょにまなぼう：続みえこさんの日本語』  
三重県国際交流財団 2006.3

### \*\*\* 編集後記 \*\*\*



●表紙の写真：国際交流サロンは、「てらこや」による留学生と日本人学生の交流イベントや英語サークル、映画の上映会、留学生と留学生OBの懇談会などに使用されています。また、パソコンや海外雑誌なども置いてありますので皆様、ぜひサロンをご活用ください。

『学塔』118号(リニューアル3号)は、留学生の皆さんの出身国・地域や文化について特集しました。図書館は様々なサービスを通じて情報と場を提供し、留学生・日本人学生の皆様をサポートしてまいります。